

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	まちの活力プロジェクト		実施期間	平成29年度～	テーマ	地域産業の育成 その他（道路基盤整備）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本町の人口は平成17年の10,060人をピークに減少に転じ、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されている。 住民アンケート調査では、交通の利便性強化、生活道路の整備などの意向が多く、今後のまちづくりの誘導軸として都市計画道路宇治田原山手線の整備を進める必要がある。また、豊かな自然環境や歴史、お茶の生産地としての地域資源をはじめ、新名神高速道路や都市計画道路宇治田原山手線の整備効果などを最大限に活用し、産業振興や雇用の確保に取り組むなど、定住・移住を促進する必要がある。							
プロジェクトの目的及び概要	「まちに若者を呼び込み、働く場を確保する」ため、新名神高速道路の開通や宇治田原インターチェンジの開設を見越し、町内企業の雇用環境の充実に取り組む。また、宇治田原のロケーションを活かしたにぎわいづくりを進めるとともに、町内で働く人に町内で居住してもらうための受け皿を拡充する。							
	総事業費（千円）	27,579	本年度事業費（千円）	27,579	交付金額（千円）	9,922		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	「ハートのまち」移住定住促進奨励金	交付対象事業	新たに本町に移住定住を希望する者が、町内の新築物件の取得もしくは中古物件を購入し移住した場合に奨励金を交付することで1ターン、Uターンの促進を図る。			〈交付実績〉 9世帯（一般世帯4、優遇世帯5）、23人（大人17人、子ども6人） ※〈奨励金の額〉 一般世帯15万円、優遇（若年・三世代）世帯25万円		
	宇治田原企業成長応援事業	交付対象事業	町内事業者が販路開拓の伴う展示会等への出店経費や、経営改善事業等に対し、その経費の一部を補助する。			〈交付実績〉 企業成長応援事業 10件 経営改善事業 24件		
	中小企業経営支援事業	交付対象事業	中小企業の負担を軽減し経営安定を図るため、信用保証料及び融資利子に対し補給金を交付する。			〈交付件数〉 ・融資利子補給 24件 ・保証料 補給 10件		
	商工会指定事業等補助金	交付対象事業	商工会が実施する経営改善事業及び地域振興事業の経費の一部を助成する。			〈事業実績〉 ・商工会指定事業助成金 ・商工祭助成 ・新年のつどい助成 ・プレミアム商品券発行事業補助金		
	宇治田原山手線整備事業	関連事業	宇治田原山手線の国道307号以北（滋賀県境）約1.2kmの用地測量、物件調査、用地鑑定を行い用地取得を実施。			宇治田原山手線の国道307号以北（滋賀県境）約1.2kmの用地測量、物件調査、用地鑑定を行い用地取得を実施。		
	町道新設改良事業	関連事業	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するために、住民生活に密着した生活道路の整備改良を行う。			住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を実施。		
	地籍調査事業	関連事業	公共事業の円滑化や土地に係るトラブルの未然防止のため、土地の境界、面積の測量を行う。			森林管理や課税の適正化、災害復旧時の迅速化、公共事業の円滑化及び土地に係るトラブルの未然防止のため地籍調査を実施。		
	まちのマスコット「茶ッピー」活用事業	関連事業	宇治田原町の魅力をPRするため、茶ッピーグッズの作成等により「茶ッピー」の活用を図る。			まちのマスコット「茶ッピー」のオリジナルグッズを作成、販売。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	ふるさと納税推進事業	交付対象事業	ふるさと納税の「宇治田原町ふるさと特産品」を通じて、本町の魅力や町内産業等のPRを行う。	本町に寄附をいただいた方へのお礼の品「宇治田原町ふるさと特産品」を通じて、本町の魅力や町内産業等のPRを行った。	
	宇治田原山手線整備促進住民会議助成金	交付対象事業	都市計画道路宇治田原山手線に係る住民組織の活動に対する側面支援を行い、町全体の意識向上を図る。	都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議への助成を実施。	
	観光まちづくり推進事業	交付対象事業	観光振興計画の推進や観光によるまちづくりの実現を図るため、観光魅力の創出の取組や観光情報発信の充実を図る。	観光まちづくり会議を運営するとともに、観光魅力の創出に関する取組の支援、観光ポータルサイトの構築を行った。	
	「ハートのまち」PR事業	関連事業	大学生等と協働し、「ハートのまち」の具体的なPR方策を検討する。	移住定住パンフ「ちかいつ宇治田原町」、「宇治田原町スイーツマップ」の作成。	
	お茶の京都交流拠点整備推進事業	関連事業	「お茶の京都」事業に係る本町の戦略的交流拠点である永谷宗円生家及び西ノ山集団茶園ふれあい交流施設の整備等を行う。	観光振興計画の推進及び観光によるまちづくりの実現を図るため、町内の観光戦略拠点の整備を実施した。	
	末山・くつわ池自然公園事業	関連事業	末山・くつわ池自然公園利用者のサービス向上と快適な空間を提供できるよう施設整備を行う。	レクリエーション施設である森林総合利用施設（末山・くつわ池自然公園）の整備・管理を行った。	
成果指標①	成果指標の目標数値	観光入り込み客数（年間）：138,000人		成果指標の実績値	観光入り込み客数（年間）：150,558人 （平成29年度）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	宇治田原のロケーションを活かしたにぎわいづくりを進めるという目標の中、町のPRをすることによって興味をもってもらうことが多くなり、結果として観光客の増加につながった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	末山・くつわ池自然公園等施設利用状況：12,350人		成果指標の実績値	末山・くつわ池自然公園等施設利用状況（年間）：10,611人 （平成29年度）
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	末山・くつわ池自然公園施設においてはトイレの改修等、利用者の利便性や快適性の向上が図られているが、平成29年度の目標数値に到達することができなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	本町のPRが奏功し、本町への興味を持ってもらえるきっかけはできた。今後はまちに若者を呼び込み、働く場所を確保する基本目標を達成するため、引き続きまちの活力につながる事業を進めていく。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
	関連事業との連携効果	国の地方創生推進交付金を活用した事業と府のみらい戦略一括交付金を活用した事業と単独事業を組み合わせ、一つのプロジェクトとして一体的に推進することで、目標達成に近づくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	平成29年度の「お茶の京都」ターゲットイヤーにおいて、京都府をはじめ近隣市町村との連携の強化が図られている。			
	住民の自治意識を高める成果				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	産業の振興を図ることで、法人税や住民税などの税収の増加に繋がる。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。